

「最後まで諦めずボールに食らいついていく」

成年女子
西岡 百子 選手
(豊岡市出身・18歳)



- ①私はバックハンドが得意なので、バックストレート攻撃とラリー戦です。
- ②国体にはトップ選手がたくさん集まるので、自分の持ち味を生かして思いっきりぶつかってみたいです。
- ③地元で開催される国体に出場でき、とてもうれしいです。私が出場する種目は団体戦なので、チームのメンバーと協力して、1点でも多く取りたいと思います。力いっぱい頑張りますので、応援よろしくお願ひします。

卓球競技



国体で輝け!!

豊岡の選手たち

各予選会等で優秀な成績を収め、のじぎく兵庫国体の出場権を手にした選手たち。今回は、豊岡で開催される正式競技に出場する豊岡在住・出身の選手を紹介します。選手にとって、市民の皆さんの応援が一番の励みになります。ぜひ会場にお越しいただき、応援をお願いします。

《質問内容》

- ①自分の持ち味は？
- ②試合に臨む意気込みを
- ③市民の皆さんへ一言

空手道競技

「自分の力を信じて 勝ちにいく」

- ①私が出場する組手は、相手と向き合って技を打ち合い、互いに点を取り合う競技です。私の持ち味は、相手を恐れず積極的に攻めていくところです。
- ②勝ちたいと思う気持ちは誰にも負けません。自分の力を出し切ります。
- ③地元・豊岡で開催される国体に出場できて、とてもうれしいです。皆さんの応援を力にして、1試合ずつ確実に自分のポイントにしていき、上位に入れるように頑張ります。



少年男子組手
岡田 豊弘 選手
(但東町在住・18歳)

「動きすべてに気持ちを込めて 見る人の心に残る試合をしたい」

成年女子形かた
稲垣 宏美 選手
(出石町出身・21歳)



- ①小さな体でも、迫力があって大きく見える技を繰り出せるところとキレのあるスピードです。気持ちを込めた形競技を見てください。
- ②このような大きな舞台上で試合ができることをうれしく思います。試合中も平常心を保ち、これまで積み重ねてきたことすべてを出せるようにしたいです。
- ③地元が開催地ということもあって、たくさんの人々に支えられていることに感謝しています。皆さんの期待に応えられるように一生懸命頑張ります。

「自分にとって6度目の国体 経験と練習量で意地をみせる」

- ①練習ではうまくいかないこともあります、「大事なところで結果を出す」それが私の持ち味です。
- ②練習量の確保のため、出勤前の早朝練習に取り組んできました。この努力が必ずや結果に結びつくと信じています。
- ③国際大会開催の可能性もある円山川が、まずは国体の舞台として選ばれました。そこに出場できる喜びを感じながら勝ち進みたいです。



成年男子舵手付きフォア
結城 竜則 選手
(城崎町在住・28歳)

チーム一丸となつて

「持ち前の体力で 一瞬の勝負にかける」

- ①トレーニングで鍛えた体力で、艇にスピードをのせられるところです。
- ②地元開催なので、地の利を生かしてチャンスをつかみ、上位を目指します。
- ③ぜひ、皆さんも競技会場にお越しいただき、ボート競技の魅力を感じてください。

成年男子ダブルスカル
竹野 佑 選手
(豊岡市在住・21歳)



成年男子舵手付きフォア
田淵 順平 選手
(城崎町出身・20歳)

強豪クルーに挑む

少年男子シングルスカル
横田 一平 選手
(城崎町在住・17歳)



「自分らしい攻めの姿勢で レースをリードしていく」

- ①体は小さいですが、体力を生かしたリズムのよい豪快な漕ぎが持ち味です。
- ②レースではどんどん攻めていきますので、積極的なラストスパートに注目してください。
- ③兵庫、そして地元代表として精いっぱい頑張りますので、皆さんの応援をよろしく願います。

「悔いの残らないように 思いっきり楽しみたい」

- ①操作技術と残り200メートルからのラストスパート勝負です。
- ②不安と緊張でいっぱいですが、イメージトレーニングを重ね、本番では自分の持てる力を出し切ります。
- ③ボート競技を始めたころから、地元開催の国体出場を目標に練習してきました。私を育ててくれた円山川と支えてくれた先生や仲間へ、最高の競技をして恩返ししたいです。

市の南玄関口に歓迎花壇が登場！



▲国体の選手団や応援団などを温かく迎えるため花壇が地域住民によって造られました

豊岡市を訪れる国体選手団を歓迎しようと、8月10日、北但東部森林組合のボランティアグループと日高町の園芸愛好家など約100人が、豊岡市と養父市の境にある国道312号沿いの花壇（長さ約180メートル）にポーチュラカとコスモス約3,400株を手植えました。

この花壇は、平成16年の台風23号で出た土砂の集積場所として使用していた場所に造られたもので、地元住民の「殺風景な場所をきれいにしよう」という呼びかけで今回の植栽が実現しました。

植栽後、花壇には「但馬国へようきんさりました」と書いた看板を設置。国体開幕を間近に控え、市の南玄関口では歓迎準備が整いました。